



大勢の市民参加で行列をつくった千人踊り

盛大に、華やかに。

—根室開港100周年記念第52回ねむろ港まつり7/17・18—

根室市の漁業振興や開港100周年を迎える根室港の発展を祈念し、根室港まつり協賛会主催で「根室開港100周年第52回ねむろ港まつり」が開催されました。

澄み切った青空が広がった17日の午後、鳴海公園では市内の幼稚園から高校生まで13団体が出演した「ジュニアコンサート」が開催されました。子どもたちにとって緊張する晴れ舞台。かわいらしい踊りや元気な器楽演奏などが披露され、子どもたちの一生懸命な姿にたくさんの拍手が送られました。

17日夜に行われた恒例の「千人踊り」には、浴衣姿に編み笠をかぶる粋なスタイルで900人余りが参加。新根室音頭の音色に合わせながら、鳴海公園をスタートし、梅ヶ枝町から緑町と、約1時間にわたって練り歩きました。

18日に根室港で行われた「舟こぎレース」は、一般20チーム、女子6チームにより、熱戦が繰り広げられました。全員で声を掛け合い、息の合ったオールさばきを見せるものの、前に進めずにくる旋回してしまう舟が

続出し、会場は大きな笑い声援で盛り上がりまりました。

港まつりのフィナーレを飾ったのは、花火大会。あいにくの雨の中での打ち上げとなりましたが、大勢の市民が夏を彩る大輪の花に見入りました。美しい光と音で包み込まれた幻想的な根室の夜に、大勢の市民が和みました。



白熱したレースが展開された舟こぎレース



美しいハーモニーが響き渡ったジュニアコンサート



幸運は誰の手に!?

—ニホロ入館者40万人達成7/15—

平成12年2月7日の「北方領土の日」に開館した道立北方四島交流センターニホロの入館者数が、40万人を突破しました。

記念すべき40万人目となったのは、北隣協が実施している「北方少年少女塾」に参加した別海町立上風蓮小学校4年生の柴田侑弥君でした。くす玉が割れ、クラスメイトの大歓声の中、セレモニーがにぎやかに行われました。

長谷川市長が「おめでとう。」と記念品の根室の水産加工品詰め合わせとマトリョーシカを手渡すと、柴田君は「びっくりしたけど、すごくうれし。」と、突然訪れた幸運を喜んでいました。

好天の春国岱を満喫

—春国岱ふらっと観察会6/17—

夏の春国岱には色とりどりの花が咲き乱れ、野鳥たちのさえずりが快く耳に届いています。

恒例のネイチャーセンター主催「ぶらっと観察会」が、レンジャーの案内で開催されました。観察会は、第1砂丘までの片道4キロを「ゆっくり、のんびり」と歩き、春国岱の魅力を楽しもうというものです。

参加した6人は、午前9時に軽やかな足取りで出発。道すがら黄色いハマニガナの花などを観察し、砂丘に連なるハマナス群落のやさしい香りに迎えられました。夏の春国岱の魅力に、参加者は満足した笑顔を見せていました。

